

令和7年度 学校評価

対象	保 護 者 用						児 童 用						職 員					
項目	質 問 内 容	A	B	C	D	肯定的 A+B	質 問 内 容	A	B	C	D	肯定的 A+B	質 問 内 容	A	B	C	D	肯定的 A+B
①	学校は、保護者会や文書を通して教育方針等を伝えている。	177	150	7	3	98 %	中央小(風っ子)のめあてを知っていますか。	250	188	42	31	86 %	学校教育目標を意識して日常の教育活動を行っている。	18	19	0	0	100 %
②	お子さんは、友達と仲よく学校生活を送っている。	216	105	14	2	95 %	友達となかよく過ごすことができましたか。	379	113	16	3	96 %	児童は友達と仲よく学校生活を送っている。	16	21	0	0	100 %
③	お子さんは、あいさつをすることができている。	144	158	34	2	90 %	あいさつをすることができましたか。	249	195	58	9	87 %	児童はあいさつをすることができている。	3	24	10	0	73 %
④	お子さんは、みんなのために働く態度が育っていますか。	119	181	36	0	89 %	みんなのために進んで清掃や係活動に取り組んでいますか。	245	212	44	10	90 %	児童はみんなのために進んで清掃や係活動に取り組むことができている。	12	23	3	0	86 %
⑤	お子さんは、学校での学習内容を概ね理解している。	96	196	40	6	86 %	学校で勉強したことがわかるようになりましたか。	309	162	28	12	92 %	学力向上を意識した教育活動を行っている。	19	18	0	0	100 %
⑥	お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いている。	87	141	92	18	68 %	家庭での学習(宿題をふくむ)に進んで取り組みましたか。	265	168	65	13	85 %	家庭学習の習慣が身に付くように指導している。	10	26	1	0	97 %
⑦	お子さんは、思いやりの気持ちをもって学校生活を送っている。	137	177	23	1	93 %	友達にやさしくしていますか。	318	171	17	5	95 %	思いやりの心を育てる教育の充実に努めている。	19	18	0	0	100 %
⑧	お子さんは、進んで運動をしている。	117	111	97	13	68 %	体育の時間や休み時間に進んで運動できましたか。	273	165	56	17	85 %	体力向上を意識した教育活動を行っている。	12	25	0	0	100 %
⑨	学校は、子どもや保護者の困りごとに対して適切に対応している。	127	170	30	11	88 %	困ったことがあったときに、学校の先生に相談して解決してもらえましたか。	210	181	72	48	76 %	児童の困りごとに適切に対応している。	23	13	1	0	97 %
⑩	学校は、いじめの未然防止や起きてしまったときの対応を適切に行っている。	100	193	33	10	87 %	いじめはいけないことだと先生から教えてもらったり、いじめがあったときに解決してもらったりしましたか。	317	130	39	25	88 %	いじめの未然防止と起きてしまったときの対応を適切に行っている。	23	14	0	0	100 %
⑪	学校は、一人一人の教育的ニーズに応じた支援(特別支援教育)を行っている。	115	178	39	5	87 %	学校では自分にあった勉強の仕方や活動の時間がありますか。	249	187	59	16	86 %	一人一人の教育的ニーズに応じた支援(特別支援教育)を行っている。	16	20	1	0	97 %
⑫	学校は、保護者や地域と連携した教育活動に努めている。	143	169	22	3	92 %	学校で家の方や地域の方と一緒に活動することがありますか。	189	146	121	55	66 %	保護者や地域と連携した教育活動に努めている。	21	15	1	0	97 %
⑬	学校は、施設設備が整い、教育環境が整備されている。	94	194	40	9	86 %	学校の建物や道具は使いやすいですか。	280	159	57	15	86 %	施設設備や、教育環境の整備に努めている。	16	20	1	0	97 %
⑭	学校は、安全面についての配慮と指導を適切に行っている。	132	178	22	5	92 %	先生から安全についての話を聞き、気をつけて生活していますか。	326	142	33	10	92 %	安全面についての配慮と指導を適切に行っている。	25	12	0	0	100 %
⑮	学校は、教育活動などの情報を学校だよりやマチコミ等を活用して保護者に伝えている。	200	129	7	2	97 %	学校から家庭に学校でのできごとを伝えている。	286	132	63	30	82 %	学校は、教育活動などの情報を保護者に伝えている。	23	14	0	0	100 %
考察	①教職員全員が学校教育目標を意識して日々の指導に当たっており、98%の保護者に教育方針が伝わっていることがわかる。なお、教室の前面に児童のめあてを掲示し、常に確認できるようにしている。 ②全体的に見て、児童が友達と仲よく過ごすことができているといえる。しかし、4%（19名）の児童が否定的であるため、児童全員が安心して過ごすことができるようにしなければならない。 ③あいさつができると肯定的な回答した児童は87%であり、保護者の認識も同程度であった。教員の評価は73%でやや低く、「A」評価が3名であることから「あいさつができる」という認識にギャップがある。 ④みんなのために働くことができる児童は90%であった。中央小学校は黙働清掃に取り組んでおり、全体的に進んで取り組んでいる姿が見られる。まわりのことを考えて自発的に働く児童を育成していく。 ⑤学習内容を概ね理解していると答える児童は92%であり、教職員全員が学力向上を意識した教育活動を展開している成果が表れている。8%（40名）の児童に対しても「わかる」と感じられるよう支援していく。 ⑥家庭学習については、学校・児童・保護者の認識の差が大きい。進んで取り組める児童は85%おり、全体的に見て学習習慣は定着している。自ら進んで学ぶことができるように手立てを講じていきたい。 ⑦教職員は、日常の学校生活や各教科等の授業、そして道徳科の授業を通じて、思いやりの心を育てる教育の充実に図っている。友達にやさしくできる児童が95%と全体的に人を思いやる心が育っている。 ⑧体育の学習や休み時間に進んで運動していると回答した児童は85%であり、保護者の認識は68%であった。家庭では運動をしない児童も一定数いると考えられるため、運動することの楽しさを味わわせていきたい。 ⑨児童の困りごとに関して教職員は適切に対応しようとしているが、解決できていない事案はあることがわかる。76%という数字を受け止めて、一つ一つの事案に対して丁寧に対応していく必要がある。 ⑩教職員はいじめの未然防止と起きた後に適切な対応を心がけているが、今後も組織的に丁寧な対応を続け、解決したと感じられる児童を100%にしなければならない。 ⑪特別支援学級のみではなく、全学級において一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて取り組んでいるところである。どのような支援をしているのかを保護者に発信していこうと考える。 ⑫各学年、地域の方や保護者と連携した学習を進めている。児童の肯定的な回答は66%であり、自分の保護者だけではなく、友達の保護者や地域の方に協力いただいていることを広く周知させていきたい。 ⑬学校施設の整備、教育環境の整備については保護者・児童とも86%の回答であった。創立60周年を迎え、施設は修繕を重ねている現状である。安心・安全で効率よく学習できる環境づくりに努めていく。 ⑭安全面については、学校全体・学年・学級において繰り返し指導している。全ての児童が登下校の仕方や休み時間の過ごし方など、決まりを守って生活できるように指導していきたい。 ⑮学校だよりやマチコミメール・タイムラインを活用し、適宜家庭に情報を発信している。97%の保護者に肯定的な回答をいただいているが、100%になるよう質や量を考えて情報を発信していきたい。																	

A = そう思う B = ほぼ思う C = あまり思わない D = 思わない ※単位：人